

『JIN スペシャル 92 アセスメント力を高める！ バイタルサイン』

机上の知識を臨床の知につなげられる一書

著：徳田安春／定価 2,520 円（本体 2,400 円＋税 5%）
発行：医学書院／TEL：03-3817-5657



看護師には、臨床のケアの質をあげることにつながり、看護学生には、医学的基礎知識として絶対に必要なバイタルサインの知識と、フィジカルアセスメント能力を高めるための知識をもたらす、すばらしい書である。豊富な写真、図解入りで丁寧に解説しており、静脈圧と意識についても言及され、よりバイタルサインの理解が深まるようになっている。看護の初学者の教育に携わる教員にも是非一読してもらいたい。今まであいまいだった根拠を示し、自信をもって講義、実習指導に活かせること請けあいである。

この書の特徴について簡単に記す。看護学生が最も重宝する知識として、臨地実習で判断基準となるものがあげられる。すなわち、バイタルサインにおける病態の具体的な変化を表わす数値である。測定数値の示す意味を知らずして、臨地実習の学習は進めていけない。医師の臨床診断にも用いられている知識を解剖生理から解説し、バイタルサインの正確な測定方法とともに数値の意味をわかりやすく解説しているのが、良書とする第一点である。

第二点は、病態と合わせてバイタルサインの数値をみていくとき、臨床的に問題がある、または重篤な状態と判断できる症例を上げて、観察のポイントからその判断まで思考過程を踏まえながら理解できるようになっているところである。医

療行為の一部を担う「特定看護師」の導入が話題になっているが、このような基本的な医学知識をしっかりと得たうえで思考する能力を高めることが、未来の臨床看護師としての基礎を身につけることになるのではないかと考える。

図書室の一角でわいわいしている学生の集団があった。何かと首を突っ込んでみると、なんとこの書について話していた。学生からは、「わあ、この図がいいね！」「写真や図が多くて、とにかくわかりやすい」「解剖生理から、測定方法、正常・異常と流れがあって、頭にスーッと入ってくる」「事例があってよい」「みっちり書いてないから、見やすい」「実習が始まる前にこの本と出会いたかった」など、率直な意見が次々と発せられていた。いずれにしても、学生に大変人気があり、内容的にも充実している。欲を言えば、値段がもう少し安くないものかという学生たちの嘆きもあったのだが……。

臨床判断の究極は、バイタルサインの経過分析と病態との関連におけるアセスメントであり、その先に看護ケアが考えられていくものであるが、その土台はバイタルサインの正しい測定と的確な活用である。そのことを改めて教えてくれる大切な一書である。